

ボクも
愛用してます!

「長時間走ってもパワーの出方が変わらず、スリップストリームにもキッチリ入れることから強い油膜とローフリクションが持続できているのがよくわかる。シフトフィールも良好で、ギヤ抜けは一度もなし。少しオイル粘度が低いと感じたらこのヒートカット(左手)を加えて微調整も可能だ」



ENGINE OIL
広島高潤
URL <http://www.kz-hiroko.com/>
Hiroko KZ4スト スペシャル
エクストラバージョン10W-40

LUBRICANT
スズキ機工
URL <http://www.suzuki-kikoh.com/>
超極圧潤滑剤LSベルハンマー

「ちょっとした抵抗の積み重ねで最高速がガクンと落ちたりするので、潤滑が必要な箇所や長時間走って熱を持ってしまふ箇所をあらかじめ吹きかけておく。ベルハンマーはびっくりするほどの潤滑力がある「線」の下の力持ち的存在!」



「一般的な520チェーンは1コマの重量が16g位だそうで、これは11gと30%以上軽量で耐久性も抜群。ボクはシフトダウンが激しい方なんだけど、部分的にチェーンが伸びてしまう「偏伸び」の症状も見られなかった。来年度発売予定に向けて開発中なので期待して待とう」



DRIVE CHAIN
D.I.D
URL <http://www.didmc.com/>
520レーシングチェーン(試作品)



MUFFLER
NRマジック
URL <http://www.nrmagic.com/>
GPレーシング
ワークスフルエキゾースト

「テーバー状のエキパイと専用サイズのサイレンサーが効いているのか、抜けがよくて高回転まで気持ち良く回る。もてぎでYZF-R25を速く走らせるには高回転を多用するので、このマフラー特性はドンピシャ。また、エンジンブレーキの効きがマイルドになり、減速時にギクシャクしづらいのでブレーキングに集中できた」



▲独自の理論で性能を追求したサイレンサーにより、燃費とパワーを両立。ステンレス製手巻きフルテーパー仕様で近日発売予定。

操作しやすい!



GRIP
キジマ
URL <http://www.kijima.info/>
ドクターグリップ 貫通タイプ



「軟質性のラバー素材で手に吸いつくため、繊細なアクセル操作がしやすかった。振動が軽減されるのも耐久レースにはもってこいだ。それに、MotoGPライダー、V.ロッシが愛用するグリップをモチーフにしているのでヤル気も倍増!」

METER
KN企画
URL <http://www.kn926.net/>
KOSOスーパースリム
スタイルメーター温度計

「頻繁にスリップストリームに入ると水温が一気に上がってしまうんだけど、水温計があれば走行中に走り方や作戦が判断できるので、あるとないとじゃ大違い。56.4x27mmの小型サイズながらも大きめのデジタル表記で数値が見やすいのもポイントだ」



これが“もて耐仕様”の YZF-R25だ!

#300 Webike&NRマジック&モトチャンプ

スペシャルパーツ満載 幻の決戦用マシン

ここからは、金曜日の練習走行で、いきなり2分21秒フラットを叩き出した我がチームの秘密兵器・ソードが、装着パーツ&アイテムをご紹介します。

練習でたっぷり
走り込みました!



WRAPPING
ファクトリーM
URL <http://www.factory-m.net/>
ラッピングフィルム

トライバル調のグラフィックやタンク上部のチェッカーをポップに落とし込み、ビビッドなカラーでまとめられたセンス溢れるILLUST DESIGN JOYのデザインを、和歌山県のラッピング専門ショップ、ファクトリーMがピシッと仕上げてくれた「決戦用カウル」。ペイントに比べて軽量で複雑なデザインもOK。納期が短く済むのもレース向きです。

DESIGN
ILLUST DESIGN JOY
URL <http://design-joy.net/>
カウルグラフィック

国際A級ライダー
ソードが
インプレッション

「YZF-R25(142)はサーキットのような速度レンジが高いステージで本領が発揮できるマシン。もて耐の規定では燃料タンク容量が最大18ℓまでとなっていて、燃費や容量の面でもCBR250R(13ℓ)やNINJA250(17ℓ)が有利。しかし、YZF-R25はそれを補って余りあるパワーが持ち味。どの車両で参加するかも、このレースの楽しみ方の一つです」 byソード



BW'S用
ライトを使用

もて耐は今年から灯火類の装着が義務付けられているため、BW'S125のライトを流用。



エンジン中里が奮闘!

▲エンジン中里は、もてぎを走るのがはじめてながら2分26秒台(YZF-R25)の好タイムをマーク。さらに、練習走行などで足回りなどの改善点を洗い出し、着々とマシンを仕上げていく。ライダーとしても、メカとしてもめっちゃ頼れる兄貴ッ!

雨にもかかわらず、実技でこっそりとタイムアタック。サバナ(写真真ん中)が3分5秒44(MT-09)、クッサー(手前)は2分59秒68(TDM850)がベストタイム。初めてにしては良い線いって?



その数週間前……

念願の
ライセンスを
取得

▲MFJライセンスがなければ本戦への出場どころか、練習走行もままならない。サバナ&クッサーは、1日でライセンスが取得できる集中プログラムに参加。筆記テスト、座学、もてぎのサーキット実走と様々なカリキュラムをこなして、見事にライセンスを取得できました。



ぬおおお〜!

6月 June

5月 May



マフラーの
製作に着手

マフラーメーカーの本領発揮! エジソン中里がこだわりの1本を製作してくれました。詳細は左ページでご紹介。



もて耐参戦プロジェクトを振り返る
"MOTETAI" Project Playback

ペースマシンが
やってきた!

4月 April

